

# 事業者のつくる責任、

# つかう責任

事例に学ぶ！

SDGs経営、地方創生につなげる産業廃棄物のリサイクルのポイント



オンライン  
開催

参加費無料  
定員150名

\*申込方法等は裏面をご参照ください。

12 つくる責任  
つかう責任



リサイクルビジネスセミナー 2021 **2/10** WEDNESDAY 13:30~17:00

産業廃棄物の適正処理・リサイクルの取組において、環境負荷の低減に止まらず、新たな社会システムの構築、や地域の経済成長、を実現することで、SDGs経営や地方創生を実践する事例が見られ、その取組には技術開発・導入に加えて、新たなビジネスの展開、自治体や地域とのネットワーク形成など、様々な工夫が見られます。

本セミナーでは、近年の実践例の紹介を中心に、産業廃棄物の適正処理・リサイクルをめぐる現況や、廃棄物処理事業者や排出事業者、地域の自治体等に求められるSDGs経営、地方創生につなげる産業廃棄物のリサイクルにおける取組ポイントについて、特長的な事例やトピックスの紹介等を通じて学びます。ご関心のある方はぜひご参加ください。

主催：近畿経済産業局  
問合わせ先：セミナー事務局 /  
株式会社ダン計画研究所内  
Tel：06-6944-1173

## プログラム・講師

### 講演

#### 「サーキュラーエコノミーの実現に向けて求められる企業の役割」

講師：壁谷 武久 氏（一般社団法人サステナブル経営推進機構 [SuMPO] 専務理事）

世界では主流の「サーキュラーエコノミー（循環経済）」の構築に向けて、これからの廃棄物事業者、排出事業者はどのように行動すべきなのか、役割の変化や行動の方向性などについて、世界的な潮流も含めてお話します。

### 事例紹介 1

#### 「サプライチェーンとの協働によるIoTセンサーを活用した廃プラスチック回収システムの構築」

講師：三ツ松 昭彦 氏（株式会社島津製作所 環境経営統括室）

IT系企業や廃棄物処理業者、排出事業者との協働で、運用方法や仕組みを検討し、構築したIoTセンサーを用いた廃プラスチックの自動回収システムについて紹介します。

### 事例紹介 2

#### 「農業特区に開設したメタンガス発電所が推し進めるエネルギーの地産地消モデル」

講師：川内 栄治 氏（株式会社トーヨーエネルギーファーム  
スマートエネルギー本部国内事業部 部長代理）

兵庫県養父市における家畜ふん尿や食品残渣等を原料としたメタンガス発電所の運用状況について、発生する消化液の活用方策なども含めて紹介します。

### 事例紹介 3

#### 「飲食店の排水油脂を用いた都市型バイオマス発電「フード・グリーン発電システム」

講師：東 誠悟 氏（株式会社ティービーエム 事業企画部長）

飲食店から回収した排水油脂を原料にバイオマス燃料を精製し発電・充電するシステムについて、技術開発やシステム構築の展開状況や今後の展望について紹介します。

### 質疑 応答

「SDGs経営、地方創生につなげる産業廃棄物のリサイクルのポイントとは」

# リサイクルビジネスセミナー

## 事例に学ぶ!SDGs経営、地方創生につなげるリサイクルのポイント - 事業者のつくる責任・つかう責任 -

令和3年2月10日(水) 13:30 ~ 17:00

12 つくる責任  
つかう責任



### 使用ツール: Microsoft Teams

- ・ PCでの参加を推奨します。
- ・ 専用アプリか、Webブラウザを使って利用します。  
※専用アプリの場合: App Store や Google Play から  
Microsoft Teams アプリをダウンロードしてください。
- ※Webブラウザの場合: 推奨ブラウザは以下のとおりです。  
\*Windows OS: Microsoft edge、Google chrome  
\*Mac OS: Google chrome

参加費無料  
オンライン開催



### 【出演者プロフィール】

#### ■ 壁谷 武久 氏 (一般社団法人サステナブル経営推進機構 専務理事)

経済産業省出身。2007年~2019年まで一般社団法人産業環境管理協会にてLCA事業、地域・産業支援事業に従事した後、2019年6月に一般社団法人サステナブル経営推進機構を設立し、10月から同協会の地域・産業支援部門業務を引き継ぐ独立組織として、専務理事に就任。現在、SDGs達成に向けたESG、サーキュラーエコノミーなど、サステナブル経営の推進を通じた新たなビジネス創出支援のための情報発信、調査研究等を行っている。

#### ■ 三ツ松 昭彦 氏 (株式会社島津製作所 環境経営統括室)

京都市に本社を構える分析機器メーカー。京都府による「IoT・スマート産業廃棄物削減対策事業」に参画し、IoTセンサーで廃プラスチックの保管庫内の量を自動計測して一定量貯まると回収するシステムを、IT系企業や廃棄物処理業者とともに運用方法や仕組みを検討し構築。現在、同社の3工場と協力会社2社の5事業所で運用している。

#### ■ 川内 栄治 氏 (株式会社トーヨーエネルギーファーム スマートエネルギー本部国内事業部 部長代理)

トーヨーグループ(本社:東京都)のエネルギー事業等を展開する企業として2012年設立。農業特区に認定された兵庫県養父市において、鶏ふんを中心とした家畜ふん尿や食品残渣等を原料としたメタンガス発電所を整備。売電するほか、発生する消化液や堆肥を用いて近隣農家への散布サービス事業を行う。また、発電所隣接にはトマトハウスを建設し地産地消モデルの構築を進めている。

#### ■ 東 誠悟 氏 (株式会社ティービーエム 事業企画部長)

本社は埼玉県所沢市。「フード・グリーン発電」の技術開発やシステム構築を实践。東京都内400の飲食店から回収した排水油脂からバイオマス燃料を精製して発電。NEDO事業により開発した発電車を用いて、自治体等との連携イベントを多数実施。現在、排水油脂を地域で活用し新たな収入を生み出す「地域連携SDGs推進プラン」の検討を複数の自治体と進めている。

### お申し込み方法 (締切 2月5日(金)まで)

下記のホームページアドレスもしくはQRコードより申込フォームへ進み、必要事項を記入してください。  
(参加者名、所属・役職、事業所名、住所、E-Mail、連絡先TEL など)

<https://www.dan-dan.com/recycle-business/>



↑ ホームページ ↑

問合せ セミナー事務局 (株式会社ダン計画研究所内) TEL 06-6944-1173 E-Mail recycle-business@dan-dan.com

※ご記入いただいた個人情報は、本セミナーに関する運営・情報提供、主催者のセミナー等に関する情報提供についてのみ使用いたします。